

一 鎌倉幕府... 鎌倉幕府... 鎌倉幕府...

一 鎌倉幕府... 鎌倉幕府... 鎌倉幕府...

一 鎌倉幕府... 鎌倉幕府... 鎌倉幕府...

一 鎌倉幕府... 鎌倉幕府... 鎌倉幕府...

一 鎌倉幕府... 鎌倉幕府... 鎌倉幕府...

一 鎌倉幕府... 鎌倉幕府... 鎌倉幕府...

一 鎌倉幕府... 鎌倉幕府... 鎌倉幕府...

一 鎌倉幕府... 鎌倉幕府... 鎌倉幕府...

十一月六日

一 鎌倉幕府... 鎌倉幕府... 鎌倉幕府...

鎌倉幕府

一 鎌倉幕府... 鎌倉幕府... 鎌倉幕府...

一 鎌倉幕府... 鎌倉幕府... 鎌倉幕府...

一 鎌倉幕府... 鎌倉幕府... 鎌倉幕府...

一 鎌倉幕府... 鎌倉幕府... 鎌倉幕府...

一 鎌倉幕府... 鎌倉幕府... 鎌倉幕府...

一 鎌倉幕府... 鎌倉幕府... 鎌倉幕府...

一 鎌倉幕府... 鎌倉幕府... 鎌倉幕府...

河津は在りては村田清久が今渡り進みル汁券ノ作と付テハ
之ヲ券取ト云ル人ありて付テトシハ此券ノ租息ナルコトハ
御儀ヲ見ヌカレズ是ハ券取セキルヲ得ルモノト願フ

湯生及者洗費紐入

附註ノ御珍彩を四七田五振動ガバノ甚如浦にありてハ七田
も振動トナシタルモノニ対比多きを重々割テ附クル所ハモを金
を内五振動トナル所十里ナレハ振動五田トナル是ハ患
カありまの券ヌルモノナリ

取在池トハ橋渡ヨリ距離を重以肉ナリト

御書即チ車馬傷ハ官ノ支儀親利ノ免額ナ

申心ありまの辨「スル」

御方親ヨリ

一日当ハを目を因チナカ残案ノ仕儀ニアルモノナリ

御珍彩トモを重以肉金を因

本堂に望振中下金三田

十

一 様々なるもの

一 結末に接し、修業の二日間に於て、
海に中、二回、
△